



工学部電気電子工学科1年次
金 栄現
キム・ヨンヒョン[韓国]

What's happening?

日本と母国の習慣の違い



てもらうし、人数で正確に割って会計をすることがとても少ないからです。また男の人と女の人がデートするときも男の人がほとんど払うので、最初に日本で自分の分だけ払うのは冷たいなと感じました。

日本ではすることなのに韓国でしないこと、逆に韓国ではすることなのに日本ではしないことが悪いとはぜんぜん思いません。ただ、このような違いがあるということを書いただけです。両方良いところ、悪いところがあると思います。もちろん最初は新しい習慣に慣れていなかったのが不便でした。しかし日本では日本のスタイルで、韓国では韓国のスタイルでするのがいいと思います。ほかの国の習慣と母国の習慣が違っていやだと言うのはとても愚かなことだと思います。お互いに相手の国の習慣、文化などを理解して納得することが一番大事だと思います。



ソウルの清溪川[チョンケチョン]にて

まずはお酒とタバコのことです。日本と韓国は儒教思想の影響で目上の人を敬うと思います。それで目上の人にお酒をいただくときは両手でいただきます。でも韓国ではお酒を飲むときはさらに、頭を目上の人の方ではなく横に向けます。またタバコも似ています。知合いの目上の人の前ではほとんど吸わないのです。それで初めて日本で先生とタバコを吸うときはとても緊張しましたが、今は先生とタバコを吸うときにも慣れました。でも日本でお父さんと嫁と一緒にタバコを吸ってもおかしくないということについてはまだ私にとっては考えられないことです。

次は割り勘です。日本で食事をしたり、先輩とか友達とみんなでお酒を飲んで会計するとき、店員さんの「別々にしましょうか?」という言葉聞いたとき、少し驚きました。なぜかという母国では目上の人、特に先輩と飲んだときは普通奢っ



日韓共同理系留学生派遣事業の大学博覧会にて(左から筆者、金成海教授、先輩のキム・ヘジンさん)

日本と一番近い国、韓国から日本にきてもう1年になりました。韓国では、日本を近くても遠い国と言うときが時々あります。日本と韓国は距離的には近くて似ている部分がたくさんあると思いますが、やはりある部分の習慣とか文化はかなり違うので、時々そのように言うのではないかと思います。それで「日本と韓国の違う部分は何か」について述べたいと思います。

初めての講義のショックをバネとして



大学院
ヘルスバイオサイエンス
研究部口腔感染症学分野
三宅 洋一郎
みやま ひろかず

いかに学生に興味を持たせ、効率の良い授業を進めるか。これは全ての教師の共通の悩みであり課題ではないでしょうか。今回登場いただいた三宅先生は、大学(広島)を出て初めて行った授業のショックを今も忘れないそうです。

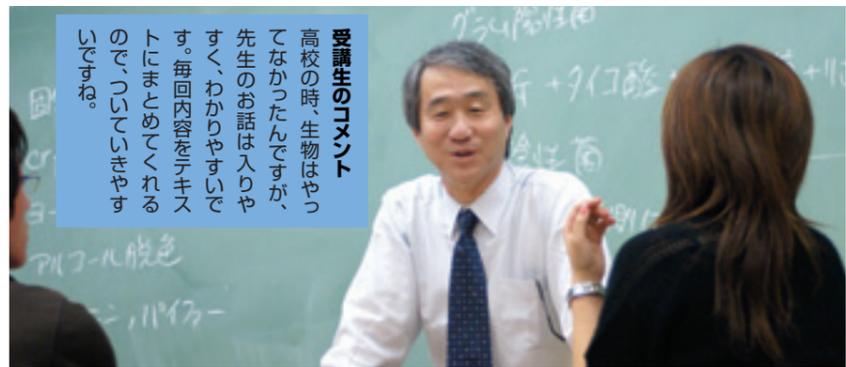
「学生から先生の話は全くわからないう、こつて言われたんです。そこでお願いで講義のやり直しをしました」先生は最初から、学生の声を聞きながら授業を進めていくことの大切さを学んだそうです。また先輩にすすめられて読んだ、元京都大学教授

の市川康夫先生の「山なみ遠に」という本に、「教育とは知識の切り売りをするのではない。学生といっしょに成長するのが教育だ」という主旨のことが書いてあり、そのことを忘れられない指針となっていました。

「準備ができていないときはうまくいきませんが、そうじゃないときは、自信のないのを学生に見透かされているような感じがしますね。まずは自分自身がマンネリ化しないように気を付けています」

「若いときには(年をとっても)若くしていればいいと思っていましたが、今は若ぶらずに、父親のような気持ちで授業をしています。クラス全員が国家試験に合格してほしいと願

「何とかが定年までには、人の役に立つ研究結果を残したいですね」という三宅先生。



受講生のコメント
高校の時、生物はやってなかったんですが、先生のお話は入りやすく、わかりやすいです。毎回内容をテキストにまとめてくれるので、ついこきやすいちゃう。

「時代とともに学生の気質にも変化があります。最近の授業ではまず内容に興味を持たせるのに、講義の最初の三分ぐらいをイントロとして使っています」

「父親が歯科医だったので後を継ごうと広島大学の歯学部。学生時代、試験に落ちた罰として細菌学研究室の手伝いをさせられたのがきっかけとなって細菌学を専攻するようになりました。」



秋号特集「学生パワー」を読んで



- 大学の主役である学生の、学業、他の分野での活躍、また社会で活躍する徳大生の記事は興味深く、読者としてうれしい記事でした。
- 自分と同じ学校の学生にこんな人がいるなんてすごいと思った。
- 在学生やこれから徳島大学に進学を志す高校生にとって、非常に励みとなる内容だと思います。
- 在学の方、卒業生の方の活躍を読み、いろいろな刺激をもらうことができました。私も本学の卒業生であるため、とても興味深い内容でした。

読者の言葉

とくtalkへのご意見

- 個性あふれる、或いはユニークな研究室を、もっと紹介してほしいと思います。また、医学・歯学の各科では今、何が最先端医療なのかという特集も興味深いと思います。→「とくtalk」では、毎回「最先端研究探訪」、「研究室へようこそ」で、各学部・学科での最先端の研究やユニークな研究を取り上げています。特集としては取り上げてこなかったのですが、検討します。
- 日本や世界から見て、徳島大学はどういう点で注目されているのか、何が誇れるのかが知りたいです。→徳島大学のセールスポイントについては、今後の特集で取り上げたいと思います。